



2024年2月22日

各位

会社名 キムラユニティー株式会社
代表者名 代表取締役社長 成瀬 茂広
(コード番号 9368 東証スタンダード・名証プレミア)
問合せ先 取締役副社長 管理本部長 小山 幸弘
(TEL : 052-962-7554)

連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえて、2023年4月27日に公表した業績予想及び2023年10月26日に公表した期末配当金の予想を下記の通り、修正致しますので、お知らせ致します。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2024年3月期通期連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 60,000	百万円 3,600	百万円 4,200	百万円 2,800	円 銭 123.36
今回修正予想 (B)	60,000	4,000	4,600	3,000	136.50
増減額 (B-A)	0	400	400	200	
増減率 (%)	0.0	11.1	9.5	7.1	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	59,139	3,269	3,965	2,471	108.87
(ご参考) 中期経営計画 2023	65,000	4,000	4,300	3,000	(※)124.29

(※) 2022年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

このため、1株当たり当期純利益につきましては、株式分割を考慮して表示しております。

(2) 修正の理由

当連結会計期間におけるわが国の経済は、緩やかな回復基調にあるものの、急速な円安による国内経済への影響や物価高が懸念材料となり、先行き不透明な状況で推移しております。また、長期化するロシアウクライナ問題に加えて、中東情勢が緊迫化するなど、不安定な状況が継続しており、また、欧米を中心とした経済・金融政策の影響や景気減速リスクは依然として高く、国内外ともに引き続き不透明な状況が続いております。

このような環境の中で、当社グループの業績につきましては、第3四半期まで順調に推移したことに加え、第3四半期以降、北米子会社 KIMURA,INC.における格納器具の受注拡大と生産性の向上、また、円安の追い風もあり、2023年4月27日に公表した通期の業績数値を修正するものであります。

その結果、各利益面においては、中期経営計画2023で掲げた数値目標を達成する見込みであります。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、今後、実際の業績等は様々な要因により、異なる可能性があります。

2. 期末配当予想の修正

(1) 期末配当予想の修正

	第2四半期 期末	期末	合計	配当性向 (連結)
	円 銭	円 銭	円 銭	
前回予想 (2023年10月26日発表)		25.00	50.00	40.5%
今回修正予想		30.00	55.00	40.3%
当期実績	25.00			
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	15.00	27.00	42.00	38.6%

(2) 修正の理由

当社グループは、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと位置付けており、配当性向40%を目安に安定的な配当を行っていくこととしております。

2024年3月期の配当金につきましては、上記の通り、厳しい経営環境の中においても概ね当初計画を上回って進捗する中で、今後の経営環境に加え、2023年1月26日に公表致しました株主還元方針の変更を総合的に勘案し、期末配当予想に対し、1株当たり5円増配し、年間配当55円(前年対比31.0%増)に修正致します。

以上